

インタフェース仕様書解説書

サービス事業所編

富士通株式会社

平成 1 8 年 1 0 月 3 0 日

この資料は、関係者の準備の資するため、現段階で考えられる事項を整理したものであり、今後変更があり得るものである。

[目 次]

1 項目設定時の留意事項	1 頁
2 インタフェースの種類と使用目的	2 頁
3 契約内容情報インタフェース	3 頁
(1) 契約内容情報ファイル構成図	3 頁
(2) 契約内容情報ファイルレイアウト	4 頁
(3) 契約内容データ作成方法	5 頁
4 請求情報インタフェース	8 頁
(1) 請求情報ファイル構成図	8 頁
(2) 請求情報ファイルレイアウト (コントロールコード)	9 頁
(3) 請求情報ファイルレイアウト (請求書情報－基本情報コード)	10 頁
(4) 請求情報ファイルレイアウト (請求書情報－明細情報コード)	11 頁
(5) 請求情報ファイルレイアウト (明細書情報－基本情報コード)	12 頁
(6) 請求情報ファイルレイアウト (明細書情報－明細情報コード)	14 頁
(7) 請求情報ファイルレイアウト (明細書情報－集計情報コード)	15 頁
(8) 請求情報ファイルレイアウト (エンドコード)	16 頁
(9) 請求データCSVファイル内容	17 頁

改版履歷

[illegible]

1 項目設定時の留意事項

以下に入力情報の項目設定時に特に注意が必要な項目について記載する。

(1) ファイル形式について

- ・ファイル形式はCSV形式の可変長とし、文字コードはShift_JISとする。
- ・ファイルは基本的に伝送としているため、FD等の媒体による提出は原則認めない。
- ・データ項目は文字列、数値にかかわらず、全て「”」（ダブルクォーテーション）で前後を挟むこと。
ただし、データ項目がブランクの場合は、「”」で挟まない。
- ・CSVファイルの区切り文字は「,」（半角カンマ）とする。

(2) 数字項目について

- ・年月日項目は西暦4桁年＋月2桁＋日2桁の計8桁とする。

【設定例】

2006年10月1日を設定する場合は、“20061001”のようにすること。

※1月や1日など年月が1文字の場合は、文字の前に0（ZERO）を入れること。

- ・年月項目は西暦4桁年＋月2桁の計6桁とする。

【設定例】

2006年1月を設定する場合は、“200601”のようにすること。（月の前に0（ZERO）を入れること。）

- ・数量を表す項目でマイナスが発生しうるものは、後述ファイルレイアウトの属性欄に”S付数字”等表記

【設定例】

－5000を設定する場合は、“-5000”のようにすること。

0（ZERO）を設定する場合は、“0”とすること。

- ・数量を表す項目で小数部が発生しうるものは、後述ファイルレイアウトのバイト数欄に”5(3.1)”等と表記する。

【設定例】

24.5を設定する場合は、“24.5”のようにすること。

30を設定する場合は、“30.0”のようにすること。

0（ZERO）を設定する場合は、“0.0”のようにすること。

- ・データ未入力の場合は、年月（日）項目は未設定、数量項目はZEROとみなす。
- ・年月（日）項目にZEROが設定された場合は、未設定とみなす。

(3) 英数字項目について

- ・項目のデータ中に「”」が含まれる場合は、項目のデータ中の「”」を「” ”」（2つのダブルクォーテーション）に置き換えること。
- ・「前ZERO」が必要なデータ項目は、「前ZERO」を省略せずに設定すること。

【設定例】

000001を設定する場合は、“000001”のようにすること。

- ・項目のデータ中に半角、全角の「'」（シングルクォーテーション）を含ませない。

(4) データの並び順（格納順）について

- ・契約内容情報

処理順にデータを並べる必要がある。

データの変更時は最初に契約報告区分＝2で既存データの終了を行ってから契約報告区分＝3で変更後データの登録を行う必要がある。

処理順が入れ替わった場合（契約報告区分＝3のデータが先にきた場合など）は契約期間の重複が発生し、エラーが発生する。

- ・請求情報

請求書情報（基本レコード・明細情報レコード）と明細書情報（基本レコード・明細情報レコード）をまとめて格納する必要がある。

2 インタフェースの種類と使用目的

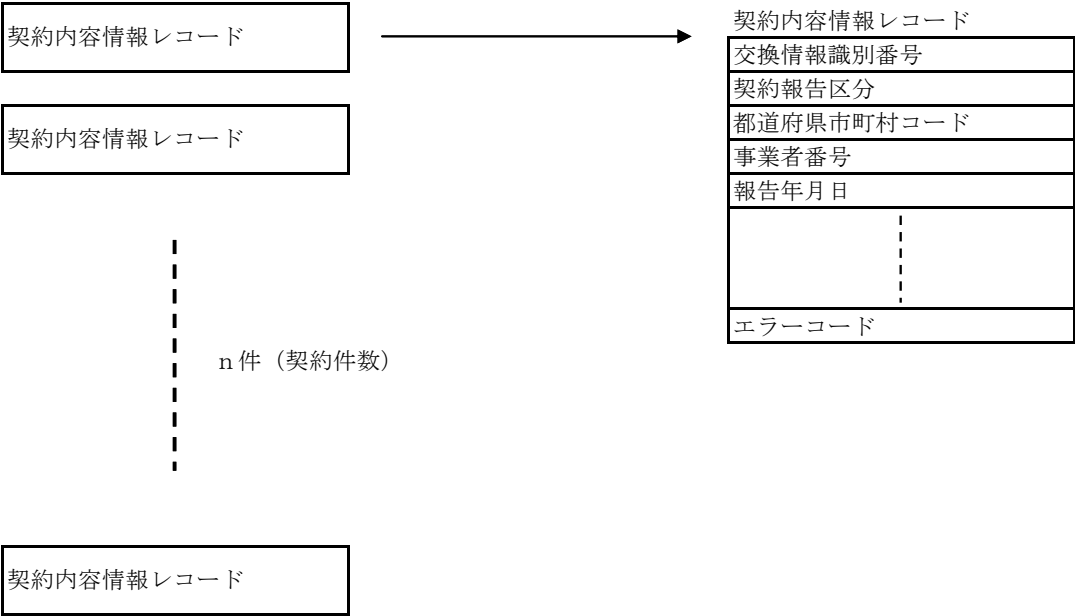
以下に市町村がかながわ自立支援給付等支払システムで使用するインタフェースの種類と使用目的を示す。

インタフェース名	使用目的	参照ページ
契約内容情報	事業者が登録した契約情報を取り出すためのインタフェース。	4
請求情報	事業者が登録した請求情報を取り出すためのインタフェース。	9

3 契約内容情報インターフェース

(1) 契約内容情報ファイル構成図

自立支援給付等支払システムへ登録できる期間は毎月 21 日～翌月 10 日までである。
但し、毎年示される運用スケジュールにより変動あり。



(2) 契約内容情報ファイルレイアウト

項番	項目名	属性	バイト数	内容	補足	例示	入力パターン		
							新規契約	契約変更 前回契約	契約終了 今回契約
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号。	契約内容情報は「JX01」固定	JX01	○	○	○
2	契約報告区分	英数	1	契約報告の処理方法を設定。 既存契約を変更する場合は、前回契約終了データと変更後データの2レコードをセットする。	1：新規契約 2：契約変更(前回契約終了) 3：契約変更(今回契約作成) 4：契約終了	1	○	○	○
3	都道府県市町村コード	英数	6	都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋CD	前ZERO省略不可	141002	○	○	○
4	事業所番号	英数	10	契約を締結した事業所番号。	契約を締結した事業所番号 前ZERO省略不可	01234567890	○	○	○
5	報告年月日	数字	8	市町村に当該契約を報告した年月日。	YYYYMMDD形式	20061001	○	○	○
6	受給者証番号	英数	10	居宅受給者証に記載されている受給者の管理番号。	受給者証に記載されている受給者の管理番号 前ZERO省略不可	01234567890	○	○	○
7	事業所記入欄番号	数字	2	当該契約を記載した受給者証の事業所記入欄番号。	当該契約を記載した受給者証の事業所記入欄番号	1	○	○	○
8	記入欄番号予備区分	英数	1	予備欄を使用した場合のみ”*”を設定する。	*：予備欄使用	*	△	△	△
9	サービス種類	英数	2	サービス種類コードを設定。	契約支給量を管理する単位	11	○	○	○
10	サービス内容1	英数	2	サービス内容1コードを設定。	契約支給量を管理する単位	10	○	○	○
11	サービス内容2	英数	2	サービス内容2コードを設定。	契約支給量を管理する単位	00	○	○	○
12	事業区分	英数	1	事業区分を設定。	0：自立支援 3：市町村事業 5：児童施設 6：地域生活支援	0	○	○	○
13	契約支給量	数字	9(6.2)	契約時締結した支給量。		999999.99	○	○	○
14	終了日までの既提供量	数字	9(6.2)	契約終了時に終了月中の終了日までに既に提供した支給量。 契約終了年月日を設定した場合は入力必須。		999999.99	△	○	△
15	契約開始年月日	数字	8	当該支給量で契約を開始する年月日。	YYYYMMDD形式	20061001	○	○	○
16	契約終了年月日	数字	8	当該支給量で契約を終了した年月日。	YYYYMMDD形式	20070331	△	○	△
17	汎用区分1	英数	2	システムでは使用しない。					
18	汎用区分2	英数	2	システムでは使用しない。					
19	汎用区分3	英数	2	システムでは使用しない。					
20	汎用区分4	英数	2	システムでは使用しない。					
21	汎用区分5	英数	2	システムでは使用しない。					
22	受給者氏名カナ	英数	30	当該契約受給者氏名カナ。		ヨコハマ タロウ	△	△	△
23	利用者氏名カナ	英数	30	当該契約利用者氏名カナ。		ヨコハマ シロウ	△	△	△
24	エラーフラグ	英数	1	送信ファイルには未設定。 受信ファイルに契約チェック結果が格納される。	0：正常データ 1：エラーデータ		-	-	-
25	エラーコード	英数	4	送信ファイルには未設定。 受信ファイルに契約チェック結果コードが格納される。			-	-	-

入力パターン欄 ○：全パターン共通で必須、○：パターン毎に必須、△：必要な場合に設定、-：ファイル送信時は未設定

(3) 契約内容データ作成方法

ア 契約内容情報について

- ・契約内容情報は、基本的に「契約内容報告書」に記載されている内容を設定するものである。
- ・契約内容報告書は以下の項目で一意になると想定している。
 - ① 契約の理由（新規契約、支給量変更 等）
 - ② 事業所番号
 - ③ 市町村コード
 - ④ 受給者証番号
 - ⑤ 契約の支給量を管理するサービス単位（家事援助、基本事業、入浴 等）
 - ⑥ 契約開始日

イ 作成タイミングについて

事業者が受給者と契約を締結した後、原則サービス提供月 2 1 日～翌月 1 0 日までに提出。
（毎年示される運用スケジュールにより提出期限が定められる）

ウ 設定パターン

契約内容報告は以下のパターンがあり、特に支給量の変更を行う場合等、他事業者の契約支給量及びその有効年月に留意する必要がある。（☆付パターンに注意）

(ア) 新規契約

- a 同一のサービスで他事業者が契約していない場合は、今回の新規契約内容をそのまま設定すればよい。

【データ設定例】（対象受給者や契約支給量の単位は、全て同一として省略）

A 事業者が 4 月から支給量 30 の契約を行った場合

	契約報告区分	事業者	契約支給量	契約開始日	契約終了日
1 件	1（新規）	A 事業者	30	4月1日	

- b 同一のサービスで他事業者が契約（継続中）している場合は、他事業者の契約支給量を当該受給者の支給決定支給量から減算した値（これより後”契約支給量残”と呼ぶ）を上回らない範囲での契約支給量を設定。下図を参照。

	4 月	5 月	6 月
決定支給量	100	100	100
A 事業者契約支給量	30	30	30
” 契約支給量残 ”	70	70	70

【データ設定例】

B 事業者が 4 月から支給量 7 0 の契約を行った場合

	契約報告区分	事業者	契約支給量	契約開始日	契約終了日
1 件	1（新規）	B 事業者	70	4月1日	

※ 契約支給量は、契約支給量残を超えてはならない。

- ☆ c 同一のサービスで他事業者が契約（当月終了）している場合は、当月と翌月からの支給量を分けて考える必要がある。下図を参照。

	4月	5月	6月
決定支給量	100	100	100
A事業者契約支給量	30	30	30
B事業者契約支給量	70	50	※5月20日で終了。
C事業者契約支給量	” 契約支給量残 ”		20 70

上記の状態ではB事業者の代わりにC事業者が契約する場合、契約可能な支給量上限値は、5月が20、6月以降は70である。
 上限一杯の契約をする場合は、契約及び受給者証への記載は、5月21日から契約支給量70で行われることが予想される。
 しかし、C事業者の5月の請求を審査する場合、サービス提供量の上限チェックにおいて契約支給量20の値がないと審査不可能である。
 よって、契約内容情報としては、5月と6月以降の各々2件の情報が必要になる。
 ただし、6月以降も支給量20とする場合は1件の情報でよい。
 また、契約日が月の初日である場合も1件の情報でよい。

【データ設定例】（契約月当月と翌月で支給量が異なる場合）

	契約報告区分	事業者	契約支給量	契約開始日	契約終了日
1件	1（新規）	C事業者	20	5月21日	5月31日
2件	1（新規）	C事業者	70	6月1日	

※ 新規で2件作成し、1件目は契約終了日の設定が必要。

（イ）契約変更

- a 変更分の契約日が月の初日である場合は、前回契約分の終了情報と変更後の情報をあわせて2件設定すればよい。

【データ設定例】

A事業者が4月から支給量50の契約を6月1日から80に変更する場合。

	契約報告区分	事業者	契約支給量	契約開始日	契約終了日	既提供量
1件	2（変更）	A事業者	設定不要	4月1日	5月31日	50
2件	3（変更）	A事業者	80	6月1日		

※ 1件目：前回契約分の終了情報、2件目：支給量変更後の情報
 契約報告区分の値（コード）が1件目と2件目で異なることに注意。

- ☆ b 変更分の契約日が月途中の場合は、前回契約分の終了情報と契約月の月末迄の支給量情報、および翌月からの支給量情報の3件の設定が必要。

【データ設定例】

A事業者が4月から支給量50の契約を6月21日から80に変更する場合
 （6月1日～20日迄の既提供量が30、6月21日～月末までの予定量25と仮定）

	契約報告区分	事業者	契約支給量	契約開始日	契約終了日	既提供量
1 件	2 (変更)	A事業者	設定不要	4月1日	6月20日	30
2 件	3 (変更)	A事業者	25	6月21日	6月30日	25
3 件	3 (変更)	A事業者	80	7月1日		

※請求の上限チェックは月単位で行う為、6月の提供量上限値は1件目の既提供量30と2件目の契約支給量25を合わせた55となる。

※上記の例で契約支給量を25に変更する場合（2件目と3件目の契約支給量が同値の場合）は2件の設定でよい。

	契約報告区分	事業者	契約支給量	契約開始日	契約終了日	既提供量
1 件	2 (変更)	A事業者	設定不要	4月1日	6月20日	30
2 件	3 (変更)	A事業者	25	6月21日		

(ウ) 契約終了

終了させる契約情報を1件設定すればよい。

【データ設定例】

A事業者が4月から支給量50の契約を6月20日で終了する場合。

（6月1日～20日迄の既提供量が30と仮定）

	契約報告区分	事業者	契約支給量	契約開始日	契約終了日	既提供量
1 件	4 (終了)	A事業者	設定不要	4月1日	6月20日	30

エ 取消データについて

- ・契約内容情報を誤って電送した場合は、再度〆切日までに正しい内容で送信すること。
（同日再送信したデータは、最終送信データのみが処理対象となる。）
- ・紙ベースで契約内容情報を提出した直後の訂正・削除は、紙や口頭による対応を願いたい。

オ 留意事項

(ア) 支給決定量の減による契約解除について

支給決定量が契約量を下回る決定となった場合、該当する契約についてすべて解除される。
例えば5月25日に翌月6月1日からの決定量が100から70に減った場合、A事業者が80の契約量の契約をしていた場合は、契約量を下回る決定となるため6月以降のA事業者の契約は解除される。A事業者は契約を継続するなら、6月以降の契約を再度新規登録することが必要となる。

	4 月	5 月	6 月
決定支給量	100	100	70
A事業者契約支給量	80	80	80
” 契約支給量残 ”	20	20	-10

↓

契約は解除されるため新規登録が必要

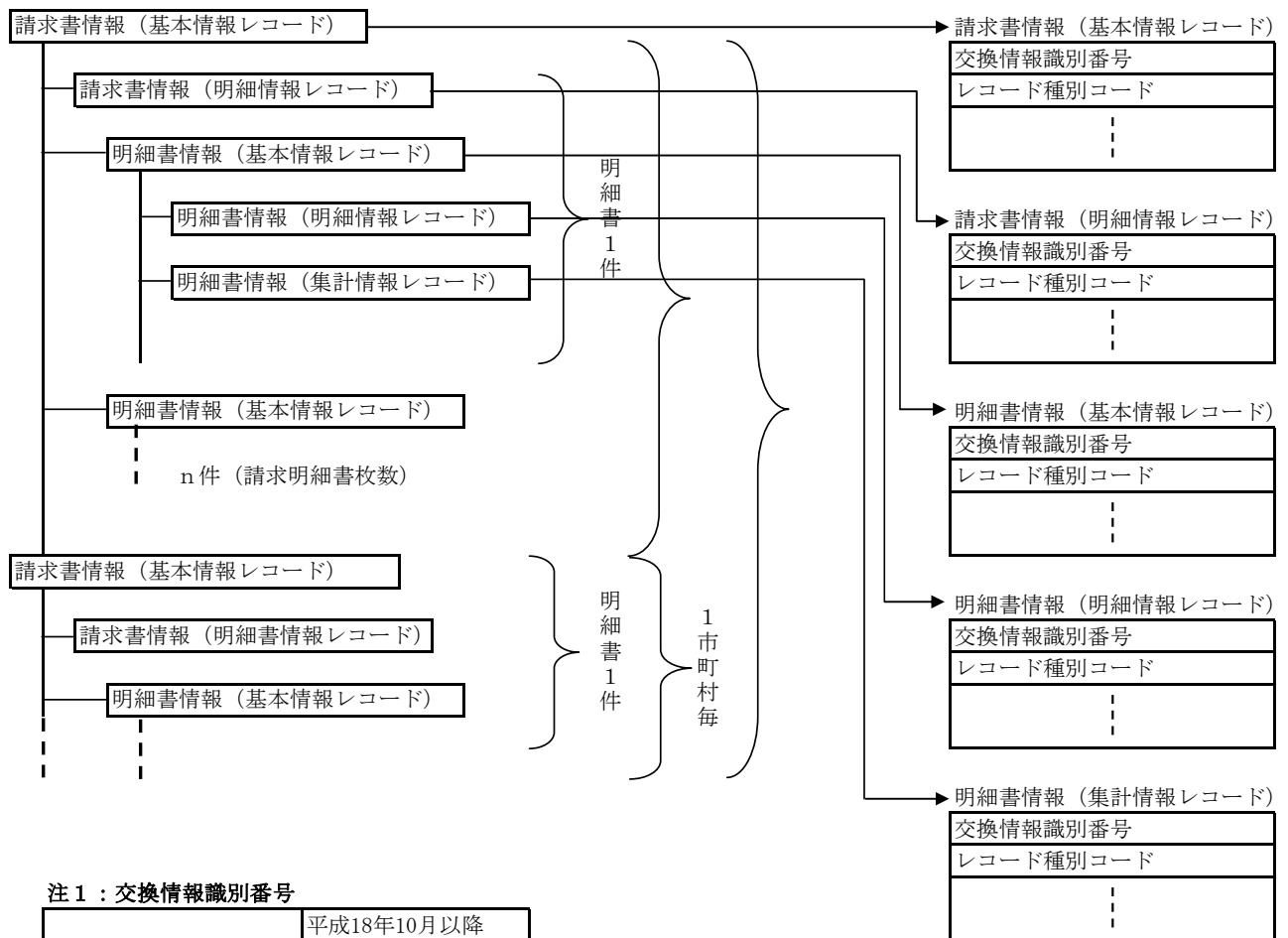
4 請求情報インターフェース

(1) 請求情報ファイル構成図

コントロールレコード	: 1レコード固定
データ（請求書情報）レコード	: nレコード
データ（明細書情報）レコード	: nレコード
.....	
.....	
エンドレコード	: 1レコード固定

(2) 請求情報レコード構成図

自立支援給付費等支払システムへ登録できる期間は毎月サービス提供月の翌月1日～10日である。
但し、毎年示される運用スケジュールにより変動あり。



注 1 : 交換情報識別番号

	平成18年10月以降	
自立支援給付等	請求書情報	JY11
	明細書情報	JY12
地域生活支援事業	請求書情報	JY21
	明細書情報	JY22

[illegible]

必須入力欄 ◎：全パターン共通で必須、○：パターン毎に必須、△：必要な場合に設定、－：ファイル送信時は未設定

(3) 請求情報ファイルレイアウト (請求書情報－基本情報レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	補足	例示 (自立支援)	必須入力
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す「2」を設定		2	◎
2	レコード番号 (連番)	数字	9				—
3	交換情報識別番号	英数	4	当該情報の内容を識別するための番号を設定	自立支援給付等「JY11」 (事業区分：0、5) 地域生活支援事業「JY21」 (事業区分：3、6)	JY11	◎
4	レコード種別コード	数字	2	基本情報レコードを示す「01」を設定		01	◎
5	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月	西暦(YYYYMM)		—
6	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	サービスを提供した事業所番号		—
7	請求自治体コード	数字	6	受給者証に記載された請求自治体コード (チェックディジット1桁含む)	都道府県コード (2桁) + 請求自治体番号 (3桁) + CD		—
8	請求金額	数字	12	請求金額の合計			—
9	小計	件数	数字	6	小計 件数		—
10		単位数	数字	11	小計 単位数		—
11		費用合計	数字	12	小計 費用合計		—
12		市町村請求額	数字	12	小計 市町村請求額		—
13		利用者負担額	数字	12	サービスごとの摘要		—
14		社福軽減額	数字	12	小計 社福軽減額		—
15		自治体助成分	数字	12	小計 自治体助成分		—
16	特定障害者特別給付	件数	数字	6	特定障害者特別給付 件数		—
17		費用合計	数字	12	特定障害者特別給付 費用合計		—
18		市町村請求額	数字	12	特定障害者特別給付 市町村請求額		—
19	合計	件数	数字	6	合計 件数		—
20		単位数	数字	11	合計 単位数		—
21		費用合計	数字	12	合計 費用合計		—
22		市町村請求額	数字	12	合計 市町村請求額		—
23		利用者負担額	数字	12	合計 利用者負担額		—
24		社福軽減額	数字	12	合計 社福軽減額		—
25		自治体助成分	数字	12	合計 自治体助成分		—

必須入力欄 ◎：全パターン共通で必須、○：パターン毎に必須、△：必要な場合に設定、—：ファイル送信時は未設定

(4) 請求情報ファイルレイアウト (請求書情報一明細情報レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	補足	例示 (自立支援)	必須入力
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す「2」を設定		2	◎
2	レコード番号（連番）	数字	9				-
3	交換情報識別番号	英数	4	当該情報の内容を識別するための番号を設定	自立支援給付等「JY11」（事業区分：0、5） 地域生活支援事業「JY21」（事業区分：3、6）	JY11	◎
4	レコード種別コード	数字	2	明細情報レコードを示す「02」を設定		02	◎
5	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月	西暦(YYYYMM)		-
6	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	サービスを提供した事業所番号		-
7	請求自治体コード	数字	6	受給者証に記載された請求自治体コード（チェックディジット1桁含む）	都道府県コード（2桁）＋市町村コード（3桁）＋CD		-
8	サービス種類コード	数字	2	サービス種類			-
9	件数	数字	6	サービス費用の件数			-
10	単位数	数字	9	サービス費用の単位数			-
11	費用合計	数字	10	サービス費用の費用合計			-
12	市町村請求額	数字	10	サービス費用の市町村請求額			-
13	利用者負担額	数字	10	サービス費用の利用者負担額			-
14	社福軽減額	数字	10	サービス費用の社福軽減額			-
15	自治体助成分	数字	10	サービス費用の自治体助成分			-

必須入力欄 ◎：全パターン共通で必須、○：パターン毎に必須、△：必要な場合に設定、－：ファイル送信時は未設定

(5) 請求情報ファイルレイアウト(明細書情報-基本情報レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	補足	例示 (自立支援)	入力パターン		
							介護給付費・訓練等給付費等	障害児施設給付費等	地域生活支援事業
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す「2」を設定		2	◎	◎	◎
2	レコード番号(連番)	数字	9				—	—	—
3	交換情報識別番号	英数	4	当該情報の内容を識別するための番号を設定	自立支援給付等「JY12」 (事業区分:0、5) 地域生活支援事業等「JY22」 (事業区分:3、6)	JY12	◎	◎	◎
4	レコード種別コード	英数	2	基本情報レコードを示す「01」を設定	前ZERO省略不可	01	◎	◎	◎
5	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月	西暦(YYYYMM)	200610	◎	◎	◎
6	請求自治体コード	英数	6	受給者証に記載された請求自治体コード(チェックデジット1桁含む)	都道府県コード(2桁)+請求自治体コード(3桁)+CD 前ZERO省略不可	012345	◎	◎	◎
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者の管理番号	1～9桁目:市町村で任意の番号を使用する(※ただし、市町村内で重複した番号は使用しないこと) 10桁目:CD 前ZERO省略不可	0123456789	◎	◎	◎
8	事業所番号	英数	10	サービスを提供した事業所番号	サービスを提供した事業所番号 前ZERO省略不可	0123456789	◎	◎	◎
9	助成自治体番号①	英数	6	助成自治体がある場合、自治体コードを設定	前ZERO省略不可		△	△	△
10	助成自治体番号②	英数	6	助成自治体がある場合、自治体コードを設定	前ZERO省略不可		△	△	△
11	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者氏名カナ			△	△	△
12	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童氏名カナ			△	△	△
13	地域区分コード	数字	2	地域区分コードを設定			—	—	—
14	社会福祉法人等負担軽減額適用の有無	数字	1				—	—	—
15	利用者負担上限月額	数字	10	利用者負担上限月額を設定			—	—	—
16	社会福祉法人等軽減額対象者	数字	1				—	—	—
17	障害程度区分コード	英数	2	障害程度区分コードを設定			—	—	—
18	管理上 事業所 管理結果額	指定事業所番号	数字	10	上限管理事業所の事業所番号設定		—	—	—
19		管理結果	数字	1	上限管理事業所の管理結果を設定		—	—	—
20		管理結果額	数字	5	上限管理事業所の管理結果額を設定		—	—	—
21	支給 中 加 管 轄	指定事業所番号	数字	10	連絡調整を行った日中介護事業所の事業所番号を設定		—	—	—

(5) 請求情報ファイルレイアウト (明細書情報-基本情報レコード)

項番	項目名		属性	バイト数	内容	補足	例示 (自立支援)	入力パターン		
								介護給付費・訓練等給付費等	障害児施設給付費等	地域生活支援事業
22	昇設欄等	当該事業所への通所日数	数字	2	日中介護事業所への通所日数を設定			—	—	—
23		給付単位数	数字	6	サービス種類コードごとの単位数を設定			—	—	—
24	請求額集計欄	総費用額	数字	10	サービスの総費用額を設定			—	—	—
25		上限月額調整 (①②の内少ない数)	数字	6	利用者負担額上限月と給付率に基づく利用者負担額のうち少ないほうを設定			—	—	—
26		社福軽減後の利用者負担額	数字	6	社福軽減後の利用者負担額を設定			—	—	—
27		社福軽減額	数字	6	社会福祉法人にて軽減する額を設定			—	—	—
28	合計	調整後利用者負担額	数字	6	調整後利用者負担額を設定			—	—	—
29		調整後社福軽減額	数字	6	調整後社福軽減額を設定			—	—	—
30		上限管理後利用者負担額	数字	6	上限管理後利用者負担額			—	—	—
31		市町村請求額	数字	10	市町村への請求額を設定			—	—	—
32	特別定給障害費者	助成①請求額	数字	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定	項番9 助成自治体番号①に対応		△	△	△
33		助成②請求額	数字	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定	項番10 助成自治体番号②に対応		△	△	△
34		算定日額	数字	4	支給決定された日額を設定	事業区分「3」市町村加算は未設定		△	△	—
35	特別定給障害費者	日数	数字	2	算定する日数を設定	事業区分「3」市町村加算は未設定		△	△	—
36		市町村請求額	数字	5	市町村への請求額を設定	「項番34×項番35の額」と「項番37の額」の低い方を設定 事業区分「3」市町村加算は未設定		△	△	—
37		実費算定額	数字	8	利用者が負担する実費の額を設定	事業区分「3」市町村加算は未設定		△	△	—

入力パターン欄 ◎：全パターン共通で必須、○：パターン毎に必須、△：必要な場合に設定、—：ファイル送信時は未設定

(6) 請求情報ファイルレイアウト (明細書情報-明細情報レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	補足	例示 (自立支援)	必須入力
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す「2」を設定		2	◎
2	レコード番号（連番）	数字	9				—
3	交換情報識別番号	英数	4	当該情報の内容を識別するための番号を設定	自立支援給付等「JY12」 (事業区分：0、5) 地域生活支援事業等「JY22」 (事業区分：3、6)	JY12	◎
4	レコード種別コード	英数	2	明細情報レコードを示す「02」を設定	前ZERO省略不可	02	◎
5	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月	西暦(YYYYMM)	200610	◎
6	請求自治体コード	英数	6	受給者証に記載された請求自治体コード（チェックデジット1桁含む）	都道府県コード（2桁）＋請求自治体コード（3桁）＋CD 前ZERO省略不可	012345	◎
7	事業所番号	英数	10	サービスを提供した事業所番号	サービスを提供した事業所番号 前ZERO省略不可	0123456789	◎
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者の管理番号	1～9桁目：市町村で任意の番号を使用する（※ただし、市町村内で重複した番号は使用しないこと） 10桁目：CD 前ZERO省略不可	0123456789	◎
9	サービスコード	英数	6	サービスコード6桁	前ZERO省略不可	111119	◎
10	単位数	数字	6	サービスごとの単位数		580	◎
11	回数	数字	2	サービスごとの回数		10	◎
12	サービス単位	英数	6	サービスごとの算定額 ※単位数×回数	前ZERO省略不可	5800	◎
13	摘要	英数	20	サービスごとの摘要			△

必須入力欄 ◎：全パターン共通で必須、○：パターン毎に必須、△：必要な場合に設定、－：ファイル送信時は未設定

(7) 請求情報ファイルレイアウト(明細書情報-集計情報レコード)

項番	項目名	属性	バイト数	内容	補足	例示 (自立支援)	入力パターン				
							介護給付費・訓練等給付費等※1	介護給付費・訓練等給付費等※2	介護給付費・訓練等給付費等※3	障害児施設給付費等	地域生活支援事業
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す「2」を設定		2	◎	◎	◎	◎	◎
2	レコード番号（連番）	数字	9				—	—	—	—	—
3	交換情報識別番号	英数	4	当該情報の内容を識別するための番号を設定	自立支援給付等「JY12」（事業区分：0、5） 地域生活支援事業等「JY22」（事業区分：3、6）	JY12	◎	◎	◎	◎	◎
4	レコード種別コード	英数	2	集計情報レコードを示す「03」を設定	前ZERO省略不可	03	◎	◎	◎	◎	◎
5	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月	西暦（YYYYMM）	200610	◎	◎	◎	◎	◎
6	請求自治体コード	英数	6	受給者証に記載された請求自治体コード（チェックディジット1桁含む）	都道府県コード（2桁）＋請求自治体コード（3桁）＋CD 前ZERO省略不可	XXXXXX	◎	◎	◎	◎	◎
7	事業所番号	英数	10	サービスを提供した事業所番号	サービスを提供した事業所番号 前ZERO省略不可	XXXXXXXXXX	◎	◎	◎	◎	◎
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者の管理番号	1～9桁目：市町村で任意の番号を使用する（※ただし、市町村内で重複した番号は使用しないこと） 10桁目：CD 前ZERO省略不可	XXXXXXXXXX	◎	◎	◎	◎	◎
9	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コード2桁を設定	項番10～14に項目設定される場合必須 前ZERO省略不可		◎	◎	◎	◎	◎
10	サービス開始日等	開始年月日	数字	8	サービスを開始する年月日	西暦（YYYYMMDD）	20061001	△	△	△	△
11		終了年月日	数字	8	サービスを終了する年月日	西暦（YYYYMMDD）	20061031	△	△	△	△
12		利用実日数	数字	2	サービスごとの利用実日数			△	△	△	△
13		外泊日数	数字	2	外泊日数を設定			△	△	△	△
14		入院日数	数字	2	入院日数を設定			△	△	△	△
15	請求額集計欄	サービス実日数	数字	2	サービス実日数を設定			—	—	—	—
16		給付単位数	数字	9	給付単位数			—	—	—	—
17		単位数単価	数字	4	単位数単価			—	—	—	—
18		給付率	数字	3	給付率			—	—	—	—
19		総費用額	数字	10	総費用額			—	—	—	—
20		給付率に基づく請求額	数字	10	給付率に基づく請求額			—	—	—	—
21		給付率に基づく利用者負担額②	数字	6	給付率に基づく利用者負担額②			—	—	—	—
22		上限月額調整（①②の内少ない数）	数字	6	上限月額調整（①②の内少ない数）			—	—	—	—
23		社福軽減後利用者負担額	数字	6	社福軽減後利用者負担額			—	—	—	—
24		社福軽減額	数字	6	社福軽減額			—	—	—	—
25		調整後利用者負担額	数字	6	調整後利用者負担額			—	—	—	—
26		調整後社福軽減額	数字	6	調整後社福軽減額			—	—	—	—
27		上限管理後利用者負担額	数字	6	上限管理後利用者負担額			—	—	—	—
28		市町村請求額	数字	10	市町村請求額			—	—	—	—
29		助成①請求額	数字	10	助成①請求額			—	—	—	—
30		助成②請求額	数字	10	助成②請求額			—	—	—	—

入力パターン欄 ◎: 全パターン共通で必須、○: パターン毎に必須、△: 必要な場合に設定、—: ファイル送信時は未設定

※1: 施設入所支援、旧法施設支援、共同生活介護、共同生活援助を除く

※2: 施設入所支援、旧法施設支援

※3: 共同生活介護、共同生活援助

※4: 集計情報レコードは任意に作成できるものとする。作成する場合は必須項目は必ず設定すること。

(9) 請求データCSVファイル内容

ア 請求書情報について

- ・請求書情報の基本情報レコードと明細情報レコード、明細書情報の集計情報レコードは、省略してもよいものとする。
ただしレコードが存在する場合、必須項目の妥当性チェックを行う。（明細書情報の集計情報レコードは必要に応じて必須）

イ CSVファイル作成例

		交換識別コード
自立支援事業	請求書情報	JY11
	明細書情報	JY12
地域生活支援事業 (市町村事業)	請求書情報	JY21
	明細書情報	JY22

コントロールレコード			
コントロールレコード		1,,, "JY1", "0", "1400000001",,,, "200610",	必須
データレコード			
単位	ファイル種別	入力例	
市町村	介護給付費訓練等給費請求書基本情報レコード	2,, JY11, 01,,,, . . .	任意
	介護給付費訓練等給費請求書明細情報レコード	2,, JY11, 02,,,, . . .	任意
受給者	介護給付費訓練等給費請明細書基本情報レコード	2,, JY12, 01, 200610, 145555, 1000000002, 1400000001, . . .	必須
	介護給付費訓練等給費請明細明細情報レコード	2,, JY12, 02, 200610, 145555, 1400000001, 1000000002, 111110, 512, . . .	必須
	介護給付費訓練等給費請明細書集計情報レコード	2,, JY12, 03, 200610, 145555, 1400000001, 1000000002, 11, . . .	任意
エンドレコード			
エンドレコード		3,	必須